

放課後デイサービス
まごころライト

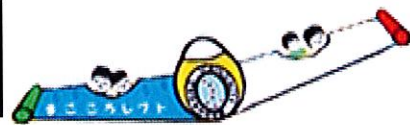
『まごころ花壇の整備』

6月はじめに、まごころ駐車場にある花壇やプランターに新しく野菜の苗(なす・きゅうり・トマト・かぼちゃ等)や、色とりどりのお花を子ども達と一緒に植えました。草刈からはじまり、スコップを使い土を起こして、汗をかきながらも集中して皆で植えることができました。

梅雨に入ったかと思うと、30度を越す日もあり、変化の多い時期ですが、子ども達と共にすくすくと育っていきますように*(山中)



放課後デイサービス
まごころレフト



はじめまして☺4月からまごころの一員になりました、柴垣江里です。

優しいスタッフのみなさんと、とっても可愛い子どもさんたちと楽しく過ごし、一緒に成長していきたいと思っています。宜しくお願ひ致します。(柴垣江)



子供は幼少期から小学校高学年になるまで「どれだけ褒められたかで喜ぶ」から「誰に褒められたかで喜ぶ」へ、さらに「何を褒められたかで喜ぶ」に変わっていくと聞きます。ただ単に褒めるのではなく、褒めることで喜ぶ関係性にあるか、具体的にどういうところが良かったのかを分かりやすく示していきたいです。まごころが、家庭の次に安心、安定の場所になれることを目指します

♪(清水)

デイサービス通信

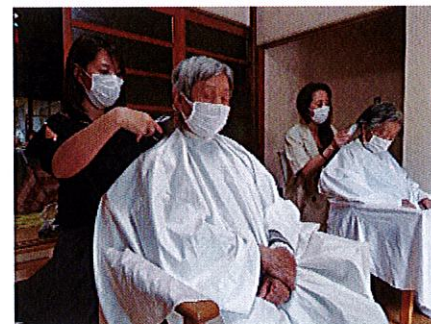
リフレッシュ



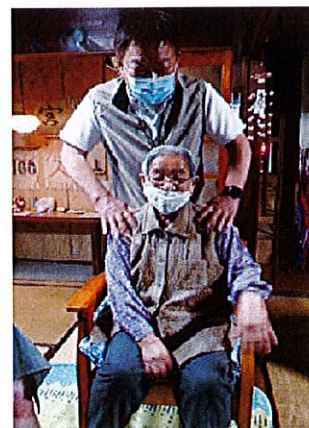
まごころのデイサービスでは入浴施設がない代わりに、昼食後に池田温泉の湯を使った『足湯』でゆっくりとくつろいで頂いています。お肌がつるつるすべすべになるなめらかな泉質で「しもやけができなくなったよ」「腫のガサガサが少なくなった」「風邪もひかんくなったよ」などと喜んで頂いています。

また5・6月は、プロの先生による上半身マッサージや美容師さんによる髪のカットもして頂きました。「ああ～身体が軽くなった。あなたもやってもらったら?」「あら、髪切ってすごく良くなったよ!」などとお互いに感想を言い合う表情は、みなさんとてもリラックスしていい顔をされています。

コロナ禍ではありますが、感染予防をしながら協力して下さるボランティアさんには感謝です。また、そんな利用者さんの笑顔のために、色々な形でリフレッシュできる機会が増えるといいなと思っています。(大野)



ふじた亭にて理美容とマッサージでくつろぐ...



つぶやき

夫婦別姓賛成論



日本では結婚すると、夫婦は夫または妻の姓にしなければならない。民法で決められているのです。よその国はどうかと思ったらOECD加盟国は全て夫婦別姓が認められている。夫婦は同一姓以外認められないのは日本ぐらいである。

もっとも日本でそのように決められたのは、明治時代であるし、外国で認められたのもそれ程古くはない。夫婦別姓反対論者は家族の絆や一体感が不安定になると主張する。

しかし、同姓だから離婚が減るというエビデンスでもあるのだろうか。

話は戻るが、娘しかない家の家名はどうなるのだろうか。それこそ家名断絶である。あまりこの種の意見が取り上げられないのは残念である。

更に、戸籍制度は東アジアで採用されている。これも無くしてはどうでしょう。一見奇異な意見に見えるが、マイナンバー制度の充実により戸籍制度に替えることは十分に可能ですし、戸籍制度のない国の方がはるかに多いのだ。

元に戻るが選択的夫婦別姓というのは結婚しても従来の姓を使えるという制度です。だから別姓が認められても、それ程別姓を選択する人は余程の理由があるのではないのでしょうか。採用する人は多くないのではと思う。希望する人に選択肢を与えるのは良い事ではないのでしょうか。

(鹿島 兼一)



ケアマネジャーの目

～髪の毛を贈る～

「ヘアドネーションをしよう。」と思ったあの日から、目標の長さに達したので、断髪式をしました。3年前、ご利用者のMさんが中学生という若さで急逝、その後、いつもショートヘアだった彼女のお母様が自分の髪を寄付する為に伸ばしていることを伺い、その考えに賛同し、私も髪を伸ばし始めました。ヘアドネーションとは、「髪を切る」というシンプルな行いでできるボランティアです。必要な長さは、31cm以上と決まっています。その髪を処理、加工し、世界に一つだけの「髪を持たない子どもたち」のウィッグ(かつら)に生まれ変わります。一つのウィッグを制作するのに、なんと30~50人分の髪が必要になるそうです。皆の想いがつまった素晴らしいウィッグの贈り物が完成します。皆様も是非、髪の毛のプレゼントをしてみませんか?(石川洋子)

～知っておきたいヘルパーの知識～

「暑い季節のすごしかた」

暑い季節になると、「熱中症」を気にする方もふえてくるかと思ひます。熱中症は、暑い環境で起こる健康の障害のことをいいます。高齢者では、男女共に、日常生活のなかで起こる熱中症が多くなっていて、特に室内での発症が増えています。なぜでしょうか?

熱への感受性、体温調整がむづかしくなり、高血圧、糖尿病、認知症の持病が重症化へと繋がっていく要因と考えられます。

涼しい服装、水分補給、室内での温度に気を付けていただくよう、声掛けが大切です。

